

自治基本条例をつくる会 会議概要

第26回会議	
開催日時	平成20年5月28日(水) 18:30~20:55
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	13名 岩本信子、岡村啓二、河野朋子、木林紀生男、草田和枝 酒井敏正、杉本保喜、徳重洋子、林久芳、平原廉清、 室住友子、山田義隆、若松勇輔
事務局	市長公室長、秘書行革課主幹
協議概要	<p>1. 前回会議概要の訂正箇所の有無の確認・・・なし</p> <p>2. 本日のレデュメ、配布資料の説明 (事務局)</p> <p>3. 今後の進め方について協議を行う。</p> <p>(1) つくる会の一次素案提出が来年1月となっており、週2回のペースでいくと残り14回である。新たな項目の抽出と検討について取り掛かるべきである。</p> <p>(2) 作業するための様式(シート)が提案され、報告書または提言書をどのような体裁とするのか、先進地事例により3例が示された。(事務局)</p> <p>(3) 現在の「行政」「市民」「議会」の大項目は重要なことなので時間をかけてでも深く検討すべきである。検討内容は、今後の「解説」(または「考え方」となる。</p> <p>(4) 意見として、会としての書記が必要であり、行政(担当課)に任せるべきではない。⇒ これについては、テープ録音しているので行政、つくる会双方で利用することにより記録しよう。</p> <p>4. 前回未了の「行政班」の課題と解決策についての意見交換を継続した。</p> <p>主な意見)・個別の対応策は個々の条例に拠る場合もあり、この会では基本原則や基本的な考え方をまとめることとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での論議では、大項目、小項目の分類にはあまりこだわらなくてよい。今後の新たな切り口によるテーマと重複することもある。 ・「解決策」は今後「項目」(条文)に結びつき、意見交換内容は「解説」又は「考え方」になるのではないかと。 <p>5. その他</p> <p>(1) フォーラムのポスターを多く印刷して各所に掲示したらどうか。</p> <p>⇒ 了解。予定では公民館等20枚だが40枚作成する。(事務局)</p> <p>(2) フォーラムの開催について、各種団体の総会に出向いて引き続きチラシを配</p>

布する。

(3) 会議開催案内を各自のメールに配信して郵送の手間と経費をかけないこと。

⇒ 事務局でメールアドレスを把握してそのように努める。

6. 次回までの宿題

条例に掲げるべき新たな項目を設定して、各々作業シートを作成してくる。

7. 次回の進め方

(1) 「市民班」「行政班」「議会班」の報告に対する意見交換を行う。

(2) 持ち寄った作業シートで意見交換しながら新たなテーマについて協議する。

【次回の開催について】

第27回会議：平成20年6月11日（水）18：30～第2委員会室